

火の魂ファミリーの皆いつも本当にありがとう。

平成も終わり新しい年号「令和」が発表されました。

私は昭和の生まれなので、昭和～平成～令和と3つの年号を生きてきました。創業したのが2006年（平成18年）で、創業から13年経つことになります。新卒社員も人数が増え10人になり、来春には20名近く新卒社員を迎え入れる会社になってきます。新卒社員が火の魂カンパニーに入社を決めるのは、私が思い描く「夢」や「想い」に共感して共に人生を歩むことが前提です。そんな理念に共感したメンバーが増えてきたからこそ、令和元年は第二創業期にあたる区切りのいい年になりました。

改めて、食を通しお客様が喜び、社員が喜び、社会が喜ぶALL WINの経営を私の人生をかけて、社員と共に必ず実現させていきます。

さて、今月の社長からの手紙は、新入社員が初めて読む手紙でもあるので創業の想いを綴ってみたいと思う。私が創業したのは今から13年前の2006年8月、30歳まで無職で引きこもっていた私は、自分の人生を変えるために起業した。起業当時に立てた三つの自分との約束（身近な大切な人を幸せにする、一生挑戦し続ける、誰だってなりたい自分になれる事を証明する）は今でも私の土台となりブレることなく今日まで走り続けてきました。

この三つの約束の中でも「身近な大切な人を幸せにする」は、私の経営の目的と生きる目的が13年経営してようやく一つになってきたと感じています。理由は単純で、私が一人の社会人として言うなら一番大切なのは家族であるし、経営者の野沢賢司という役割では、社員の存在が身近な大切な人にあたります。火の魂カンパニーの存在理由は社員が幸せになるためであり、社員と社員の家族が幸せになれる会社にするのが私の夢でもあります。

火の魂カンパニーで働く皆さんも、きっと身近な大切な人を幸せにするために働いている人も多いと思うし、まだ結婚していなく実感かわからない人も、将来必ず家族を幸せにするために一生懸命働くと思います。

そう考えると、火の魂で働く皆が身近な大切な人の幸せを想い一生懸命働くのならば、生涯共に力を合わせ、幸せを体現できる会社を一丸となって作っていきたいといつも考えています。私の夢は社員と共に幸せになる事です。いつも私は形になっていないことを、夢として語っていますが、生涯この夢を語り続け信じて共に目指してくれる仲間を必ず幸せにしてみせます。

勿論、私一人で叶えられる夢ではありませんから、一人でも多くの価値観の合う仲間を集め、仲間と共に実現させていきます。

改めて新しく火の魂カンパニーの皆さんどうぞよろしくお願ひします！